

めのマークカード読取機が含まれている。電子計算機の入力は従来、せん孔カードあるいは紙テープが用いられており集積したデータをカードまたはテープという入力媒体に変換する作業と、その作業に要するパンチャーならびにパンチマシンなどが必要であった。しかしマークカード読取機によれば入力媒体であるカードに直接手書きでマークをすれば計算機は読み取ることができるので、従来に比べて経済的でしかも早くデータ処理ができるようになる。マーク

の記入は、鉛筆、黒色インクなど一般に使われている広範囲の筆記用具が利用できる。

おもな機器構成は、H-8300-32 処理装置1台、H-8442-2 磁気テープ装置3台、H-8233-21 マーク読取機構付カード読取機1台、H-8098-2 コンソールタイプライタ1台、H-8245-12 ラインプリンタ1台、H-8234-10 カードせん孔機1台である。

■ マレーシア、シンガポール地域から 電力量計(WHM)大量受注

日立製作所はこのほど丸紅飯田株式会社を通じ、マレーシアのNEB (National Electricity Board) およびシンガポールのPUB (Public Utilities Board)より、電力量計約10万個の受注に成功した。

これらの電力量計は同地域の電力局の年間一括買付に必ずのもの、イギリスのBS規格の完全適合品である。

今回の受注はフェランティ(イギリス)、GEC(インド)、AEI(イギリス)、EE(イギリス)など著名なメーカーとの競争入札の結果獲得したものである。受注総額は約60万ドルにのぼり、BS規格の電力量計一括受注としては記録的なものである。

日立製作所は従来から、同地域での電力量計販売には積極的な姿勢で臨んでおり、シンガポールについてはすでに約15万個の納入実績をもっているが、今回あらたに、マレーシア地域からの受注に成功したことにより、20年間イギリスのフェランティ社の牙城(がじょう)であった同地域の電力量計につき、今後の地盤が確保できたものと考えられる。



図6 日立電力量計

■ 日立掃除機“ポットデラックス木目” “C-V 200 F形”発売

日立製作所では、現在好評発売中の革命的新機構<パワープレス方式>採用の“C-V 200形”に引き続き、このほど従来の性能を生かし、日本調木目模様の外装としたデラックス版“C-V 200 F形”を新しく発売した。

最近の掃除機は、掃除機本来の機械的優秀性と同時に、置場所の関係から家具としての美しさも求められている。高級塩ビ銅板製の木目模様入りの外装は、使わないときにはテレビの前、タンスの横などに置いても調度品としての美しさを十分に持っている。

<パワープレス方式>は、6,000 ccの大容量集じんケースと集じん部内で起こる特殊な空気流から生まれる吸気圧で、驚異的集じん量を実証済みである。さらに550 Wの強力モーターとキングマウス吸口の組合せによる吸込力はこのクラスでは抜群である。また、ゴミが満タンになったときのゴミ処理は、日本、イギリス、アメリカ特許の“チリ落とし”で清潔にかつ簡単に操作できる。

外ケースの材質が高級塩ビ銅板だから、掃除機本体に汚れや傷がつきにくく、また周囲の家具類へも傷をつけにくい。

操作面は低速分散とブローの切換排気式、立ったまま操作できるペダル式コードリール、応用部品を本体に取り付けられる部品ホルダー、大形ダストインジケーターなど、一つ一つに日立独自の技術が生かされている。

本機のおもな仕様は、消費電力 550 W、真空度 1,200 mm 水柱、風量 3.1 m³/min、本体重量 8 kg である。

なお、応用部品として、すき間用吸口、衣服用吸口、曲り管、棚用吸口、部品ホルダーを備えている。

価格は、現金正価で本体 17,800 円、応用部品 1,700 円、月賦正価(10回)で本体 19,100 円、応用部品 1,800 円である。



図7 ポットデラックス掃除機
“C-V 200 F形”

■ 日立ステレオ5機種 新発売

日立ステレオキャッスルシリーズに新製品5機種が加わった。現在、最も人気のあるセパレートステレオには、エンジンバラ 12(129,000 円)、クロスター (69,800 円)の2機種、また若い層に好評のモジュラスステレオ“フォーミュラー”には、フォーミュラー 301 (92,800 円)、フォーミュラー 302 (58,500 円)、フォーミュラー 303

(43,000 円)の3機種を発売した。

エンジンバラ 12はオールシリコントランジスタ使用の出力50Wのオーディオアンプを使用し、プレーヤーには30 cm ターンテーブル、ダブルベルトドライブを採用し、ゴロのない安定な回転である。スタティックバランス形のパイプアームはヘッドシェルが交換可能で、好みのカートリッジが簡単に取り付けられる。

スピーカーは25 cm フリーエッジウーハー、9 cm スコーカー、

ホーンフイター×2の本格的3ウェイ4スピーカーシステムでウォールナット、オイルフィニッシュのキャビネットとあいまって、低音から高音までバランスのとれた臨場感あふれる音を再生する。

クロスオーバーはオールトランジスタセパレートステレオで、歯切れのよいのびのよい音が特長である。本格的2ウェイスピーカー、大形25cmターンテーブルのオートプレーヤー、FMステレオアダプター、ヘッドホン端子、DIN端子など完備している。

フォーミュラーはすでに昨年フォーミュラー401として発売したモジュラーステレオ姉妹機種である。モジュラーステレオは住宅事情やステレオの個人財化に伴い、今後、需要増が見込まれる製品である。

フォーミュラー301はエンジンバラ12と同様、オールシリコントランジスタアンプ、ダブルベルトドライブプレーヤーを使い、スピーカーには20cmロールフリーエッジウーハーとホーンフイターの2ウェイスピーカーシステムで、特にピアノの再生音は出色である。

フォーミュラー302、303はオールトランジスタ式セットで、出力は24W、FMステレオアダプターを内蔵している。プレーヤーは30cmターンテーブルを使い、静かで安定なレコード演奏を行なう。

ヘッドホン端子、DIN規格録音再生端子など付属機能も完備している。

そのほかフォーミュラー302はマグネチックカートリッジ、アームリフターとプロ用機能を備えスピーカーには20cmウーハー、8cmツイーター、ともにロールフリーエッジのダブルフリーエッジスピーカーシステムで、ウーハーとツイーターとの音響的つなが



図8 エンジンバラ12 "DPK-12"



図9 フォーミュラー302 "DPK-302"

りがよく、のびのよい再生音が特長である。

……編集後記……

「住友金属工業株式会社小倉製鉄所納 連続式棒鋼圧延設備」では、わが国初の純国産、全連続式棒鋼圧延設備の概要を紹介している。

この10年間、わが国でもいくつかの全連続式圧延設備が設置されてきたが、いずれも輸入または外国メーカーとの技術提携によるものであった。近年、ミル設備の大容量、高速、連続自動化にこたえ、これまでのミル製作技術を駆使、各所にぞん新な機構を織り込んだ純国産の最新鋭設備である。

外国技術に頼ることなく、メーカーとユーザーが一体となって設計製作された圧延設備として、意義ある論文であろう。

電力システムの制御にサイクリックテレメータやスーパービジョンが多数使用され、中央側にはたくさんのデータが周期的に到来する。これを滞りなく受量し、必要とする所(装置)へ分配し、伝送速度変更を行なうことを目的とした装置を“データ集配装置”と言う。

「電力システム用サイクリックテレメータリングデータ集配装置」では、装置の構成・処理動作について、回線処理容量1200B換算送受各3回線のモデル実験結果を報告している。

1年半にわたる長期試験にも、きわめて安定な好結果を得た本研

究は、時代の要請にこたえた時宜を得た論文であろう。

本号は、新JEM規格に準拠したクレーン用モートルおよび制御装置のシリーズを完成、あわせて大形造船用ガントリークレーンに関する日立製作所の技術成果を「川崎重工業株式会社取出工場納 大形造船用ガントリークレーン」「新JEMクレーンモートルとその制御機器」「クレーン用高圧電動機のリアクトル制御」など7編に集録、「クレーン特集」とした。

日立製作所のクレーン技術を随所に盛り込み、完成なった世界最大級の大形造船用ガントリークレーン、三角ラーメンの座屈荷重、新JEMクレーンモートルの開発、アンロードの静止レオナード制御および自動運転など、幾多の成果をあげた日立研究技術陣の真に価値ある論文集であろう。

巻頭の一家一言には、運輸省港湾局長 宮崎茂一氏から“港は海陸輸送の接点である”を冒頭に、わが国港湾荷役の現実の諸問題をご指摘いただき、同時に港湾荷役の近代化が急務であることを説かれた「特集号によせて」と題する玉稿をいただいた。

特に本誌のために稿を草されたご好意に対し厚くお礼を申しあげる次第である。

日立評論 第50巻 第4号
 昭和43年4月20日印刷 昭和43年4月25日発行
 (毎月1回25日発行)
 <禁無断転載>
 定価1部150円(送料24円)

© 1968 by Hitachi Hyoronsha Printed in Japan
 乱丁落丁本は発行所にてお取りかえいたします。

編集兼発行人	田中榮
発行所	日立評論社
	東京都千代田区丸の内1丁目4番地
	電話 東京(270)2111(大代)
	振替口座 東京71824番
印刷所	株式会社日立印刷所
取次店	株式会社オーム社書店
	東京都千代田区神田錦町3丁目1番地
	電話 東京(291)0912
	振替口座 東京20018番

広告取扱店 株式会社 日盛通信社 東京都中央区銀座西7丁目3番地 電話 東京(571)5181(代)